

科目名	産業保健経営学実習	
科目責任者	永田 智久 (産業保健経営学 教授)	
開講時期： 2年次	単位数： 4 単位	時間数： 90分× 60 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 企業内で産業保健活動を行う上での基盤となる企業そのものと、経営手法の産業保健の応用を産業保健活動の実践や関係者へのインタビューなどの情報収集を通じて理解する。 行動目標 (SBOs) 1) 事業場において、組織構築・管理手法の産業保健活動への応用を検討できる。 2) 事業場において、労働安全衛生マネジメントのシステムを用いた産業保健活動の展開を検討できる。 3) 健康経営の推進体制の構築と効果的な推進を検討することができる。 4) 背景や産業保健ニーズが異なる事業場において、マーケティング手法を用いて産業保健プログラムを検討できる。 5) 事業場における産業保健活動のコスト・効果分析を行うことができる。 6) 事業場における産業保健活動の事例を分析することができる。		
● 評価方法	実習参加状況50%、発表50%等で総合評価する。	
● 参考文献	成果の上がる健康経営の進め方(労働調査会)、産業保健担当者のための経営学入門(労働調査会)、産業保健スタッフのためのISO45001(中央労働災害防止協会)、健康会計入門(法研)	

● 授業内容

内容	担当教員
主にマネジメントシステムおよび費用対効果分析について、実際の事業場事例を用いて実習を行う。また、その検討成果は、ケースメソッド用のケースとして作成する。	永田
主に健康経営について、実際の事業場事例を用いて実習を行う。また実施体制、PDCAやリーダーシップについて、適切な事業場の事例を取材して、ケーススタディを行う。	永田